

DAIKEN
第93期
中間報告書

証券コード 7905

D.REPORT

平成20年4月1日から平成20年9月30日まで



地球も家もまるごと「エコ」



大建工業株式会社



くらし
エコライフ

新たな
ライフスタイルの提案

- 音アメニティ
- エイジングサポート
- ペットと暮らす
- 新コーディネート
- 新LDK空間

地球も家もまるごと「エコ」

地球と人にやさしい住まいで、いつまでも長く楽しい暮らし。

DAIKENの軌跡はエコの歴史。

半世紀以上も前から、すでに地球環境の事を考えた環境配慮型製品をつくり続けてきました。

そして、積み重ねてきた確固たる実績とコアとなる独自技術、ノウハウを駆使し、

新しい資材の開発や時代のニーズにあった建材・住宅機器など、

幅広い環境配慮製品を提供し続けています。

おりしも“200年住宅”の関連法案が成立に向けて動き出すなど、

長期優良住宅の普及に向けての国の動きも活発化しています。

〈地球も家もまるごとエコ〉をテーマに、DAIKENは、

これからも、建物の長寿命化を実現するための基本性能をさらに高めて、

地球と人に優しく、安心・安全、健康で心地よい、

いつまでも楽しく住みつけられる家づくりを目指していきます。



株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。ここに第93期第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)における当社グループの営業の概況をご報告申し上げます。

当期間における住宅業界は、昨年6月以降、建築基準法改正に伴い新設住宅着工戸数が激減した危機的状況からは脱したものの、当期間の業績と関係の深い平成20年1~6月の新設住宅着工戸数は前年同期比10%減となり、依然として低水準で推移しております。また、原油、石化製品、合板などの原材料価格は高騰を続け、収益面への影響も高まるなど、厳しい経営環境下にありました。

このような中で当社グループは、平成20年度を初年度とする中期経営計画のもと、リモデル市場や海外市場といった重点市場への積極的な経営資源の投入や、原油価格に左右されない製造設備(バイオマスボイラー)の新設、不採算事業の撤退などを通じて、厳しい経営環境の中でも確実

に利益が出せる、成長できる企業体質への変革を進めてまいりました。また、原材料価格の高騰に対しましても価格転嫁を図り、収益改善に取り組みました。さらに、合板代替のエコ素材事業(インシュレーションボード、ダイロートン、MDF、ダイライト、ハードボード)につきましては、エコ素材のルーツであるインシュレーションボードの生産を開始して今年で50周年を迎えることから「エコ50キャンペーン」を展開し、エコ素材が有する機能性や環境貢献性を市場に訴求してまいりました。

この結果、売上高は計画どおりとなったものの、コストアップや競争激化に伴う収益低下などの影響で、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高777億3百万円(前年同期比5.5%減)、経常利益13億15百万円(同8.6%減)、

四半期純利益1億28百万円(同84.3%減)となりました。

今後につきましても、景況感はさらに厳しさを増しており、決して予断を許さない経営環境が続くものと予想しております。

このような状況下、当社グループは中経ビジョン「エコ素材で暮らし価値を上げます」のもと、再生資源や未利用資源を主原料とするエコ素材を通じて、DAIKENの考える「安心・安全・健康・快適・便利」といった暮らし価値を提供するとともに、これまでの用途にとらわれることなく、エコ素材を幅広い分野へ展開し、事業拡大を進めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年12月



取締役社長

澤本良次

注記 事項

当期から金融商品取引法に基づく四半期報告制度が導入されました。適用される会計基準や用語などが、当第2四半期に係る財務情報と前年同期に係る財務情報との間で異なりますが、当報告書においては数値の比較がしやすいよう主要な財務項目は並べて記載することといたしました。前年同期に係る数値やグラフは参考データとしてご確認ください。

部門別の状況

住宅・建設資材関連事業

当社グループのコア戦略の一つである合板代替のエコ素材事業につきましては、インシュレーションボードは主力商品である畳ボードのマイナス分を養生ボードでカバーすることで前年同期並みの売上を維持するとともに、ダイロートンは海外市場で実績を拡大し、売上高を前年同期比7%増としました。ダイライトにつきましては、ダイライト基材の調湿建材「さらりあ〜と」、不燃化粧壁材「プレミアート」で売上高を増加させたものの、新設住宅着工戸数の減少による耐力面材の落ち込みをカバーするにはいならず、国内市場の低迷で苦戦したMDFとともに、前年同期の売上を確保することができませんでした。

床材を中心とする内装材事業は、生産拠点の集約化を軸とする事業構造改革を推進し、収益面での改善を進めると同時に、犬の歩行に配慮したペット共生住宅用フローリング「ワンラブフロア」を発売するなど、市場ニーズに対応した品揃えの強化を図ることで、売上高を前年同期比2.7%増としました。

一方、住機製品事業につきましては、今年2月に発売しました薄型・大画面テレビと収納をすっきりコーディネートできる「スタイリッシュファニチャーMiSEL(ミセル)」や、中核製品であるドア・収納・階段・造作材の拡販に努めることで、1～6月の着工戸数が前年比10%減少する中、売上高を前年同期比2.7%減に留めました。

営業面では、リモデル市場に対し耐震リモデル製品「かべ大将」の拡販と、リモデル専門の販売チャネル開拓に努め、リモデル専門分野での売上を前年同期比10%増としました。また、海外市場については、中国上海市に建材販売を手掛ける全額出資の現地法人「大建アメニティ(上海)商貿有限公司」(日本名:大建アメニティ(上海)商貿有限公司)を設立し、インドや韓国に営業所を新設するなど、販売体制を強化しました。

この結果、この分野における当第2四半期連結累計期間の売上高は679億46百万円(前年同期比3.5%減)、営業利益は12億600百万円(同6.8%減)となりました。

住宅・建設工事関連事業

建設工事関連事業につきましては、市場環境が厳しい中、価格転嫁及び業務効率化を推進し、収益確保に努めました。一方、住宅工事関連は、注文住宅、分譲一戸建の受注減少で工事金額が減少しました。

この結果、この分野における当第2四半期連結累計期間の売上高は97億57百万円(前年同期比17.5%減)、営業利益は1億円(同25.4%減)となりました。

通期の見通し

平成20年10月30日の第2四半期決算短信での発表どおり、通期の見通しは連結売上高1,650億円(前期比1%減)、経常利益30億円(同14.8%増)、当期純利益8億円(同1%増)を計画しております。

今後の取り組み

わが国経済は、米国経済の減速及び国際的な金融不安などにより、今後も不透明感が強まってくると予想されます。新設住宅着工戸数も個人消費意欲の減退により低水準で推移するものと予想され、当社グループを取り巻く経営環境は、引き続き厳しい状況で推移していくものと思われま。

このような状況のもと、当社グループは新設住宅着工のみに依存しない事業構造の構築と収益構造の変革を、より一層スピードを上げて推進してまいります。特にエコ素材事業につきましては、エコ素材が有する機能性や環境貢献性を広く市場に訴求する「エコ50キャンペーン」を通じて、エコ素材を非住宅市場や産業資材市場など幅広い分野へ展開し、事業拡大を進めてまいります。また、今後も成長が見込まれるリモデル市場につきましては、TOTO(株)、YKK AP(株)との3社共同の展示会「リモデルスタイルフェア」を、10月から来年4月にかけて全国7会場で開催し、TDYブランドのより一層の浸透、リモデル需要の拡大に向け注力してまいります。

TOPICS

TOPICS 1 『DAIKEN・ECOサイト』を開設

『インシュレーションボード』の生産を開始して今年で50年という節目の年を迎えるにあたり、広く一般の方にこれらエコ素材の“エコ”たる所をご理解いただくこと、さらには【資源循環型企業のリーディングカンパニー】としての当社の取り組みを認知いただくことを目的に、当社ホームページに『DAIKEN・ECOサイト』を開設しました。



TOPICS 2 中国上海市に『大建アメニティ(上海)商貿有限公司』を設立

中国国内での営業活動を今まで以上に積極的に展開するため、建材販売を手掛ける全額出資の現地法人を設立しました。

TOPICS 3 企業向けエコ建材提案サイト『産業用エコマテリアル』を開設

再生資源や未利用資源を主原料としたエコ建材の認知度向上と普及促進を目的に、より多くの企業さまにエコ建材の機能、そして多彩な用途例を知っていただく場として、企業向けエコ建材提案サイト『産業用エコマテリアル』を開設しました。



TOPICS 4 『CSR報告書2008』を発行

本報告書では、CSR経営の考え方やマネジメント体制などについて明確に示すとともに、2007年度の活動内容につきましては、社会性報告と環境報告の2つの視点からそれぞれの活動をより具体的に、各種データを盛り込みながら報告しています。



「CSR報告書2008」は、当社ホームページ(<http://www.daiken.jp/csr/index.html>)でもご覧いただけます。

TOPICS 5 会津大建工業(株)でバイオマスボイラーが竣工・稼働

製造グループ会社である会津大建工業(株)は、温室効果ガス排出量削減対策として、木くず・廃材などの木材チップを燃料とするバイオマスボイラーを新設し、今年9月から運転を行っています。



TOPICS 6 オフィシャルオンラインショップ『DAIKEN WEB SHOP』を開設

大掛かりな施工を伴わない“製品”を、ホームページを通じて販売する製品販売サイトを開設しました。



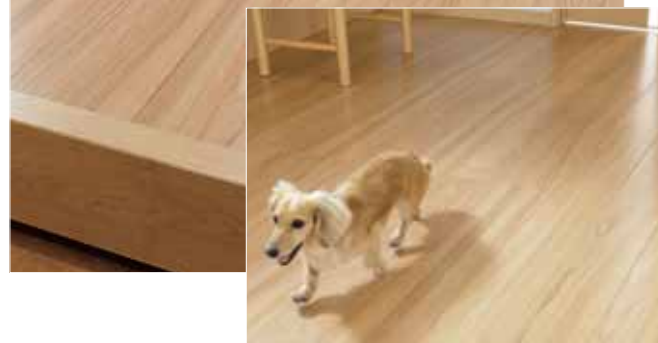
TOPICS 7 「リモデルスタイルフェア'08-'09」開催



当社は、TOTO(株)とYKK AP(株)の3社共同で「リモデルスタイルフェア'08-'09」を10月の名古屋会場を皮切りに、来年4月の東京会場まで全国7か所で開催します。フェアのテーマは「これからは、グリーンリモデル。～暮らしも快適、地球も快適～」。暮らしに快適で、地球にもやさしい「グリーンリモデル」の訴求、TDYブランドのより一層の浸透、リモデル需要創出の推進を目的に、7万3千人のお客さまの来場を見込んでいます。

ペットにも飼い主にもやさしいフローリング『ワンラブフロア』を新発売

～犬の歩行に配慮した“滑りにくさ”と“耐傷性・耐汚れ性”の両立を実現!～



そこで今年8月、これらニーズに対応するため発売したのが、ペット共生住宅用フローリング『ワンラブフロア』です。最大の特長は、犬の歩行に配慮した“滑りにくさ”というペット視点の機能と、傷や汚れが付きにくく、よだれや尿による変色しにくいというユーザー視点の機能を両立させたことです。

今回、ペット対応フローの製品化にあたり当社は、犬の歩行について東京工業大学の研究データを参考にしながら調査・研究を行い、犬の歩行に配慮した“滑りにくさ”を当社規格値として設定することから開発をスタートさせました。その上で、この規格値をクリアしつつ“耐傷性・耐汚れ性”も維持できる製品開発に着手し、試行錯誤の末、“滑りにくさ”と“耐傷性・耐汚れ性”を併せ持つ『ワンラブフロア』の開発に成功しました。

ペット共生住宅用フローリング『ワンラブフロア』は、「良きパートナーとして、そして家族の一員として、ペットにも快適に暮らしてほしい」そんな飼い主の愛情を形にしたフローリングです。

- 特殊防滑マットコート塗装により、愛犬の歩行時の滑りにくさを実現。
- 特に老犬など、足腰の弱りがちなペットのいるご家庭におすすめです。
- ひっかき傷やペットのよだれ、おしっこ汚れにも強く、お手入れも簡単です。

ここに注目!

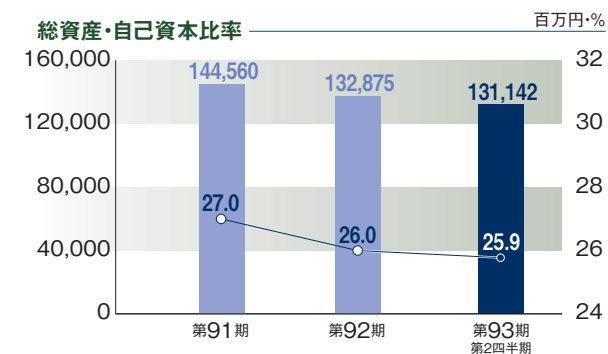
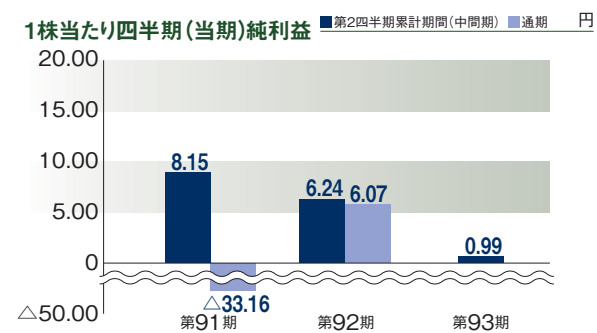
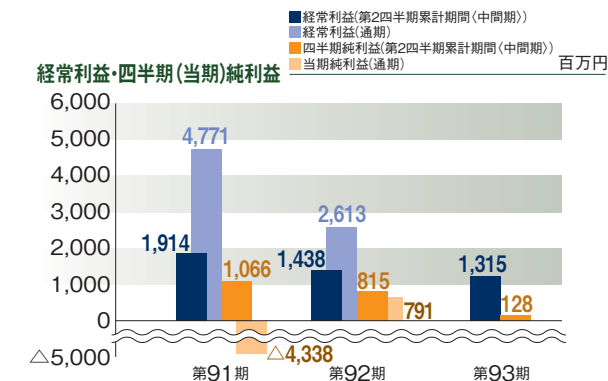
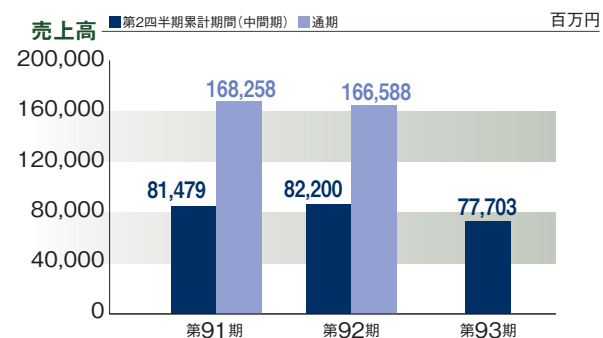
高い防滑性能により、人とペットの快適な歩行を実現!



近年、「ペットと一緒に暮らしたい」というニーズが年々高まっています。実際、日本国内の約3割の家庭で犬や猫が飼われているといわれており、今やペットは家族の一員として非常に大切な存在になっています。そして、これらニーズの高まりにあわせ、ペットを室内で飼育するケースが増えています。しかしその一方で、硬く滑るフローリングの床は、特に犬にとっては足や腰に負担がかかりやすく、股関節症や脱臼といった事故が急増するなど大きな問題となっており、飼い主からはペットの歩行に配慮したフローを求める声が高まっています。

■ 連結業績の推移

	第91期		第92期		第93期
	中間期	通期	中間期	通期	第2四半期累計期間
売上高 (百万円)	81,479	168,258	82,200	166,588	77,703
経常利益 (百万円)	1,914	4,771	1,438	2,613	1,315
四半期(当期)純利益 (百万円)	1,066	△4,338	815	791	128
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	8.15	△33.16	6.24	6.07	0.99
総資産 (百万円)	144,527	144,560	143,002	132,875	131,142
純資産 (百万円)	46,816	41,519	40,012	37,053	36,657
1株当たり純資産 (円)	340.90	298.36	286.43	265.86	261.94
自己資本比率 (%)	30.9	27.0	26.2	26.0	25.9



■連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度末 (平成20年3月31日現在)	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日現在)
●資産の部		
流動資産	67,579	66,855
現金及び預金	12,100	9,990
受取手形及び売掛金	28,660	29,997
商 品	7,553	6,300
製 品	7,245	6,983
原 材 料	2,058	1,893
仕 掛 品	2,074	2,204
半 成 工 事	2,755	3,128
貯 蔵 品	1,523	1,610
繰延税金資産	879	1,120
そ の 他	2,821	3,723
貸倒引当金	△93	△96
固定資産	65,227	64,224
有形固定資産	43,926	42,499
建物及び構築物(純額)	12,495	12,117
機械装置及び運搬具(純額)	13,624	12,969
土 地	15,833	15,664
建設仮勘定	670	464
そ の 他 (純 額)	1,302	1,284
無形固定資産	2,138	2,049
の れ ん	1,558	1,482
そ の 他	580	567
投資その他の資産	19,162	19,675
投資有価証券	11,239	10,653
前払年金費用	3,723	3,544
繰延税金資産	1,734	3,030
そ の 他	3,034	3,055
貸倒引当金	△569	△608
繰延資産	69	62
資産合計	132,875	131,142

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度末 (平成20年3月31日現在)	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日現在)
●負債の部		
流動負債	70,920	70,614
支払手形及び買掛金	20,608	20,616
短期借入金	14,180	14,103
1年内返済予定の長期借入金	4,139	3,667
未 払 金	26,063	25,453
未払法人税等	466	620
賞与引当金	1,492	1,883
事業整理損失引当金	60	211
そ の 他	3,909	4,057
固定負債	24,901	23,870
社 債	5,000	5,000
長期借入金	12,897	12,064
繰延税金負債	1,993	1,941
製品保証引当金	190	143
退職給付引当金	3,548	3,523
負 の の れ ん	150	145
そ の 他	1,121	1,052
負債合計	95,822	94,484
●純資産の部		
株主資本	34,181	33,822
資 本 金	13,150	13,150
資本剰余金	11,850	11,850
利益剰余金	9,468	9,109
自 己 株 式	△287	△288
評価・換算差額等	324	174
その他有価証券評価差額金	310	259
繰延ヘッジ損益	△12	△2
為替換算調整勘定	26	△82
少数株主持分	2,547	2,660
純資産合計	37,053	36,657
負債純資産合計	132,875	131,142

■連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前中間連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	82,200	77,703
売 上 原 価	62,484	58,714
売上総利益	19,715	18,989
販売費及び一般管理費	18,228	17,627
営業利益	1,487	1,361
営業外収益	582	515
営業外費用	631	561
経常利益	1,438	1,315
特別利益	1,592	507
特別損失	1,041	2,426
税金等調整前四半期純利益又は純損失(△)	1,989	△602
法人税、住民税及び事業税	693	680
法人税等調整額	332	△1,579
少数株主利益	148	168
四半期純利益	815	128

■連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前中間連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△9,334	539
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,332	△938
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,380	△1,818
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△9
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△9,285	△2,226
現金及び現金同等物の期首残高	16,523	12,058
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	181	117
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,419	9,948

■株主さまへのお知らせ

株券電子化後の株式に関するお届出先及びご照会先について

平成21年1月5日に株券電子化となります。その後のご住所変更等のお届出及びご照会は、株主さまの口座のある証券会社宛にお願いいたします。株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていない株主さまには、株主名簿管理人である住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といひます。)を開設いたします。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、株主メモ欄(P.10)の電話照会先にお願いいたします。

株券電子化前後の単元未満株式の買取・買増請求のお取扱いについて

- 買取請求** 特別口座の株主さまにつきましては、株券電子化の施行日(平成21年1月5日)から平成21年1月25日まで、受付を停止いたします。また、平成20年12月25日から30日までに請求をいただいた場合は、代金のお支払は平成21年1月26日以降となります。
- 買増請求** 平成20年12月12日から平成21年1月4日まで、受付を停止いたします。また、特別口座の株主さまにつきましては、株券電子化の施行日(平成21年1月5日)から平成21年1月25日まで、受付を停止いたします。

■会社の概要 (平成20年9月30日現在)

設立年月日 昭和20年9月26日

資本金 131億5,003万9,080円

主要な事業内容

住宅・建設資材関連事業

・住宅及び建設用資材 繊維板(木質、ロックウール)、VSF(ダイライト)、MDF、無機板、住宅機器、その他建材等の製造、仕入、販売

・工業用資材 繊維板等の製造、仕入、販売

・木材及び木製品 原木、製材品等の仕入、販売

住宅・建設工事関連事業

・エンジニアリング 集合住宅・中高層ビル・文教施設等の内装工事、工事部材の製造、仕入、販売、設計・施工コンサルタント業務、技術指導等

・住宅事業 当社製品を使用した住宅の販売

本社及び事業所

本 店 富山県南砺市井波1番地1

本 社 大 阪 事 務 所 大阪市北区堂島1丁目6番20号

東 京 事 務 所 東京都中央区日本橋本町2丁目7番1号

営 業 所 札幌、仙台、新潟、宇都宮、東京、名古屋、金沢、大阪、広島、高松、福岡 他計56ヶ所

海 外 営 業 拠 点 上海、シンガポール、ミリ(マレーシア)、チェナイ(インド)、ソウル、シアトル

国内生産工場

井波大建工業株式会社<富山県南砺市>、中部大建工業株式会社<名古屋>、岡山大建工業株式会社<岡山市>、高萩大建工業株式会社<茨城県高萩市>、三重ダイケン株式会社<津市>、会津大建工業株式会社<福島県会津若松市>、株式会社ダイウッド<三重県伊賀市>、株式会社ダイフィット<鳥取県倉吉市>、株式会社ダイタック<岡山市>、株式会社サンキ<富山県高岡市>、富山住機株式会社<富山県砺波市>、セウチ化工株式会社<岡山市>、エコテクノ株式会社<神奈川県相模原市>

海外生産工場

大建工業(寧波)有限公司(中国)、DAIKEN MIRI SDN. BHD.(マレーシア)、DAIKEN SARAWAK SDN. BHD.(マレーシア)

■役員 (平成20年9月30日現在)

取締役 井邊博行

代表取締役社長 澤木良次

代表取締役社長 藤井克巳

取締役 竹倉吉二

取締役 林敏男

取締役 金坂和正

取締役 加藤猛雄

取締役 伊藤章倫

取締役 岩本真一

取締役 長谷川泰之

取締役 億田正則

監査役 浦塚篤志

常勤監査役 三坂直彦

社外監査役 吉田朋史

社外監査役 柴田敏晶

執行役員

執行役員社長 澤木良次

執行役員副社長 藤井克巳

専務執行役員 竹倉吉二

常務執行役員 奥野正寛

常務執行役員 林敏男

常務執行役員 金坂和正

常務執行役員 太田史郎

常務執行役員 加藤猛雄

伊藤章倫

岩本真一

長谷川泰之

億田正則

山中健司

津田康次

酒井敏男

作田順一

吉原修一

谷津正美

島田睦博

今村喜久雄

■株式の状況 (平成20年9月30日現在)

■発行可能株式総数： 398,218,000株

■発行済株式の総数： 130,875,219株

■株主数： 6,813名

■大株主の状況 (平成20年9月30日現在)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
伊藤忠商事株式会社	20,696	15.81
伊藤忠建材株式会社	5,480	4.19
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	5,109	3.90
株式会社三井住友銀行	4,934	3.77
三井住友海上火災保険株式会社	4,880	3.73
住友生命保険相互会社	4,656	3.56
住友信託銀行株式会社	4,440	3.39
株式会社みずほコーポレート銀行	3,500	2.67
日本生命保険相互会社	3,409	2.61
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口4G)	3,194	2.44

■株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日

そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

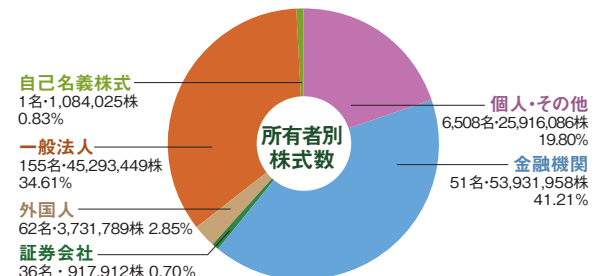
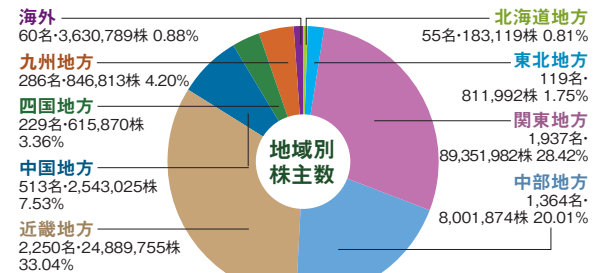
株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号

住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号

住友信託銀行株式会社 証券代行部

■株式分布状況 (平成20年9月30日現在)



(郵便物送付先) 〒183-8701
東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) (住所変更等用紙のご請求) ☎0120-175-417
(その他の照会) ☎0120-176-417

(インターネットホームページ) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

同取次所 住友信託銀行株式会社 全国各支店

公告の方法 電子公告(当社のホームページに掲載する。)
(<http://www.daiken.jp/>)

上場証券取引所 大阪、東京証券取引所



DAIKEN

<http://www.daiken.jp/>

大建工業株式会社



DAIKENエコキャラクター「妖精えこるん」